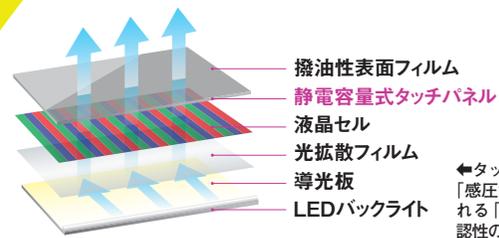
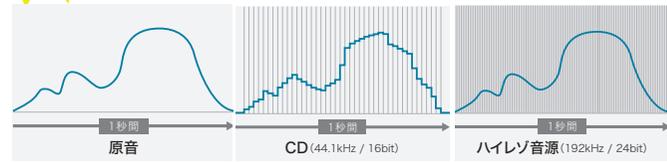


Point 3
操作性抜群!
操作性と高画質を両立した
静電容量式タッチパネル



Point 2
クラス超え!
ハイレゾ音源のネイティブ再生に対応!



←タッチパネルは低価格帯のモデルに多い「感圧式」ではなく、スマホなどでも使われる「静電容量式」。高コントラストで視認性の高い画質、優れた操作性を実現

↑CDを上まわる情報量で記録されたハイレゾ音源。彩速ナビ タイプSはWAV/FLACフォーマットの音源をそのまま、192kHz/24bitで再生することができる。ミドルクラスのカーナビで対応しているのはタイプSだけだ

“見やすさ”にこだわった新地図色
「スマートカラー」



←ルート案内の見やすさなど配色・コントラストを最適化した「スマートカラー」をはじめ、3種類の地図色を搭載。2Dから3Dまで、地図の俯角はリニアに調整できる

デジタルルームミラー型ドライブレコーダーと
スマートに連携!



↑デジタルルームミラー型ドライブレコーダー「DRV-EMN5700」と連携。ナビのセンサーやGPSを活用することで位置情報精度が高まるほか、万が一の際にナビの大画面で録画データを確認できる。地図とドライブレコーダー映像の2画面表示も可能



機能満載で
“神コスパ”の
大画面カーナビ

大画面8V型フローティングモデル

突き抜けたミドル

KENWOOD 彩速ナビ MDV-S809F

価格:オープン(実勢価格:9万8800円前後) ⑧JVCケンウッド ①0120-2727-87 www.kenwood.com/jp/

Point 1
大画面が手軽に楽しめる

フローティング構造により
約310車種に
取り付け可能

↓8V型は一般的な7V型インダッシュより画面が約1.4倍大きくなるが、その数値以上に違いが感じられる。適合車種は既販車を含む約310車種(2022年8月現在)

7型インダッシュモデル



8V型フローティングモデル

ほしい機能が詰まった
お値段以上のミドルクラス

近年、市販ナビで人気のフローティングタイプ。基本的には一般的な2D・Nのスペースがあれば装着可能だが、各メーカーとも9型以上の大画面モニターを採用したフラッグシップモデルが多く、価格も10〜20万円以上とそれなりに軽自動車やコンパクトカーなどでは手軽に楽しみたいのが現状だ。そこでオススメなのが、スマホ並みのハイレスポンス&豊富な機能で定評のある「彩速ナビ」タイプSシリーズの8型フローティングモデル。実勢価格はなんと10万円以下。価格的にもサイズ的に

格も10〜20万円以上とそれなりに軽自動車やコンパクトカーなどでは手軽に楽しみたいのが現状だ。そこでオススメなのが、スマホ並みのハイレスポンス&豊富な機能で定評のある「彩速ナビ」タイプSシリーズの8型フローティングモデル。実勢価格はなんと10万円以下。価格的にもサイズ的に

も軽自動車やコンパクトカーなどに装着しやすい「ちょうどいい」フローティングモデルなのだ。「タイプSシリーズ」は彩速ナビの中ではミドルクラスに位置するが、機能面ではミドルクラスを突き抜けている。スムーズな操作性を実現する「デュアルコアCPU」や「16GBメモリ」、スマホホライ

軽自動車やコンパクトカーに“ちょうどいい”



↑車内スペースが限られる軽自動車やコンパクトカーの場合、画面が大きすぎると、むしろ見にくいことも……。8V型はまさに“ちょうどいい”サイズ感

HDMI入力でスマホ動画が
大画面で楽しめる



←別売のHDMIインターフェースケーブルを介して、スマホやビデオカメラなどと接続可能。スマホで再生した動画配信サービスなどをナビの大画面で楽しむことができる

くなく「フリック/ピンチ操作」など、同社のフラッグシップ「タイプMシリーズ」譲りの高画質&ハイレスポンスを実現している。さらにスマホで再生したYouTubeや各種動画サービスの映像をナビの大画面で楽しめる「H

DM入力」やドライブレコーダー連携など、拡張性も高い。なかでもドライブレコーダーは同社のデジタルルームミラー型ドライブレコーダー「ミラレコ」と連携し、大画面を活かした録画映像の確認、ナビのGPSやセンサーを使った

高精度な位置情報取得など、さらなる安心・安全を提供してくれる。そのほかWAV/FLACファイルのハイレゾ音源をダウンロードせずに再生できるのもクラス唯一。ミドルを超えるミドルが「MDV-S809F」なのだ。

フラッグシップにもフローティングモデルをラインアップ

ヘビーユーザーも唸る最先端機能搭載!
9V型フローティング機構採用のフラッグシップ **大画面9V型フローティングモデル MDV-M909HDF** 価格:オープン(実勢価格:15万円前後)

Androidスマホ動画をワイヤレス接続!



←HDMI非対応の機種もあるAndroidスマホですが、近年はワイヤレス接続対応モデルが多く、ワイヤレスミラーリングなら手軽にナビと連携可能。さらにHDMI出力により、リヤモニターでも高精細なHD画質が楽しめる

デジタルルームミラー型
ドライブレコーダーと
HD接続で連携

←タイプSと同じくデジタルルームミラー型ドライブレコーダーと連携。さらに映像はナビ画面でHD高画質で再生することができる。そのほかリヤビデオカメラもHDモデルを用意

ミドルクラスの『タイプS』でも十分以上の機能を備えているが、さらなる高画質・高性能のフラッグシップモデル『タイプM』にもフローティングモデルが用意されている。サイズはタイプSを上回る9V型大画面ディスプレイ。高精細&広視野角のHDパネルにより、地図も動画も美しいハイビジョン映像で楽しむことができる。さらにAndroidスマホのワイヤレスミラーリングに業界で初めて対応。Androidスマホでエンタメをカーナビで楽しむなら、ベストチョイスのモデルといえる。

